

『COBOL って時代遅れなの？』

「時代遅れなので、COBOL 教育はやめました。」

最近、顧客リサーチにおいて、こんな回答が目につくようになってきました。

「西暦 2000 年問題」以降、COBOL というプログラミング言語は「時代遅れ」のイメージが付きまとっています。

でも、これって本当なのでしょうか？

【Q: もう使われていないから時代遅れなのでは？】

【A: いいえ。きっと、あなたもよく使ってますよ。】

『2005 年までに新たに作られるすべてのアプリケーションのうち、15%（50 億行）が、
COBOL で開発される。』 *1

という予測をご存知でしょうか。

COBOL が「時代遅れ」の言語であるなら、新たに作られるアプリケーションに使うことは、
ちょっとためらわれると思います。

世の中ではそんなことを気にしない無頓着な開発が行われているのでしょうか？

当然、違いますよね。

COBOL は今でもプログラム開発の中核を占める言語なのです。

『すべてのビジネスデータの 75% は COBOL で処理される。』 *1

『世界中で使用されている COBOL は、ソースコードにして 1800 億～2000 億行である。』 *1
という情報からも、COBOL の重要度は明らかなです。

あなたは気づかないでしょうが、COBOL は日常生活のあちこちに使われています。

多量のお金を扱う必要のある場所

大量の物品管理や帳票を作成する場所

など、「大量のデータを安全かつ正確に処理する」事を要求される場所で休むことなく
使われています。

きっと、あなたもよく使ってますよ。

【Q: 言語仕様が古臭いから時代遅れなのでは？】

【A: いいえ。COBOL は時代に合わせて変化していますよ。】

COBOL の最初の言語仕様は 1960 年に決められました。

40 年前のプログラム言語と言われるとさすがに古臭く思われるでしょう。

(なんてたって、集積回路を使っていないコンピュータの時代の話ですから。)

でも、考えてみてください。

こんな長い間、第一線で働いているプログラミング言語が他にありますか？

使い続けられているということには、何か理由があるはずです。

事務処理用共通プログラミング言語 (Common Business-Oriented Language) の名前の通り、

COBOL は、史上初の共通言語仕様として設計されました。

その共通言語という設計思想は、「古い規格で書かれていたプログラム」や

「異なるプラットフォームで動いていたプログラム」などの既存ソースが使える高い互換性として、
今も生き続けています。

高い互換性は、既存ソースが持つ、「何年も動かして得られた信頼性」を活かせることに
繋がっているのです。

しかも、COBOL は高い互換性に甘えて、40 年間立ち止まっていたわけではありません。

「産業界の言語」として、時代の変化に合わせて、規格の改訂を行ってきました。

2002 年にも ISO (International Organization for Standardization) で第 4 次規格が制定された
ばかりです。

この規格 (COBOL 2002 規格) では、クラスやメソッドといった「オブジェクト指向」など、最先端の
プログラミング技術に対応した言語仕様も含まれています。

数年の内に JIS 規格としても制定されることでしょう。

COBOL は時代に合わせて変化していますよ。

【Q:PC を使った運用環境に対応していないから時代遅れなのでは？】

【A:いいえ。ようやく、PC で COBOL が使える時代になったんですよ。】

「COBOL を PC (パーソナルコンピュータ) 上で使いたい！」と思っているユーザは昔からたくさんいました。

しかし、従来は PC では処理能力的に基幹システムなどを構築するのは難しく、COBOL が十分活躍できるような環境ではなかったため、開発環境など、限定的に使うのみでした。近年、PC の能力向上により、ようやく COBOL も活躍できるような環境になってきました。

「うそでしょ？PC のプログラムをわざわざ COBOL でなんか作らないよ。」って言いましたか？
そうですね。わざわざ作らなくても、メインフレームのソースを使えばいいんですから。
COBOL の高い互換性により、再利用は容易で、しかも信頼性の高いソースです。
使わない手はありませんよね。

また、分散オブジェクト技術の進歩により、メインフレームで稼動している COBOL アプリケーション
そのものを、ネットワークでつなげて利用できるようになってきました。

Web ネットワークでの COBOL アプリケーションの利用が拡大していくことは、

**『次の 10 年で、最も高給を得られるプログラマは「インターネットを知っている
COBOL プログラマ」である。』*2**

という予測からも裏付けされます。

すなわち、それは間接的な PC からの COBOL 利用の増加を意味しているのです。

ようやく、PC で COBOL が使える時代になったんですよ。

この記事を読んでどうお考えになりましたか？

『COBOL って時代遅れなの？』

答えはあなたが決めてください。

*1 <http://www.cobolwebbler.com/cobolfacts.htm> (英文) より

*2 <http://www.eweek.com/article2/0,3959,1098146,00.asp> (英文) より

上記の URL は 2003.08.01 現在、参照できる情報です。